

総評

数学と英語がたいへん難しかったようです。理科はやや易しめでしたが、他の教科はどれも難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。

入試や道コンなどの試験問題は、基本事項の組み合わせでできています。難しく感じられる問題も、要素に分解すると教科書の基本内容に落としこむことができます。どんな要素から成り立っていたのかを地道に見直すことで、知識を活用するコツが身につきます。

2年生の秋・冬は、入試に向けての基礎固めとして非常に重要で、成績が急に下がってしまう人が多い時期です。2年生までの内容をしっかり固めてしまえば、今後の学習は非常にスムーズになります。入試へのスタートとして、1・2年の内容をしっかりまとめましょう。

国語

やや難しい出題となりました。

㊦は、問一(2)「警鐘」の読み問題の得点率が低くなりました。「けいりん」という誤答が多かったです。㊧は、問五の得点率がやや低くなりました。話し合いの全体像をつかむ必要があったためだと考えられます。話し合いの内容をまとめるような問題はよく出題されるため、しっかりと復習しておきましょう。㊨は、問一の得点率が低くなりました。手がかりとなる部分が、傍線部から離れていたためだと考えられます。㊩と㊪は、得点率が3割を下回る問題はありませんでしたが、得点率が7割を上回る問題もありませんでした。たとえば、㊫の問一「現代仮名遣い」、問二「主語の判別」のような問題は、基本的な問題です。しっかりと復習をして、確実に正解できるようにしましょう。

数学

難しめの出題でした。

①はどれも基本の問題です。問6の作図、問7の立体の体積は、どちらも入試で1題は出題される重要単元です。必ず身につけましょう。②の問1は、「箱ひげ図」の学習が始まる前に復習しておきたい内容です。代表値の求め方や用語の意味を確認しておきましょう。問2の連立方程式は、「3年生」の人数の表し方がポイントでした。解説を読んでもう一度挑戦してみましょう。問3の(2)は、(1)がヒントになっています。

③は1次関数を利用して身近な問題を解決する問題です。2つの水そうの水の変わり方について、グラフではどのように表されるかを考えてみましょう。④は今後学習する図形や証明問題の基礎になる内容ですので、正解、不正解にかかわらず、必ず解きなおきましょう。

社会

やや難しい出題となりました。

地理分野では、①問5②・③の完全解答の問題の得点率が低くなりました。③の地図記号はできていましたが、②の縮尺を間違えた人が多かったようです。⑤問5(3)の記述問題は極端に得点率が低かったわけではありませんが、×となった解答には指定語句の書き間違いやグラフを参考にしていないなど、問題文をよく読んで書けば○になったかもしれないものが多くみられました。

歴史分野では、②問6、⑧問1(1)、⑨問1など年代に関する問題の得点率が低くなりました。年代に関する問題は入試でも必ずといっていいほど出題されます。教科書の年表などを利用して、歴史のおおまかな流れをつかんでおきましょう。

理科

やや易し目の出題でした。

①は、難しい問題がなかったこともあり、全体によくできていました。問2の化学式を書く問題では、Sが大文字か小文字かはっきりしない答案が目立ちました。このようなことで得点を取りこぼすことがないように、はっきりと解答を書くように意識しましょう。②は、問3の正答率が低かったものの他の問題はよくできていました。③は、正答率が低い問題が多くなりました。光の反射・屈折についてしっかりと復習しておきましょう。④問4、⑤問4、⑦問5、⑨問4の計算問題は得点率が低くなりました。計算問題は難しいイメージがあるかもしれませんが、演習を重ね、考え方を理解してしまえば得点源にすることもできます。今のうちにしっかりと対策しましょう。

英語

やや難しい出題となりました。

①の問1や問2のような英文が1回しか読めない問題は入試でも出題されます。英文が読まれる前にイラストなどに目を通しておき、英文が読まれたあとにすぐに解答できるようにしましょう。②と③は、問題によって得点率に差が出ました。英文の内容はよく理解できたようですが、単語や文法項目などの問いに答えることが難しかったようです。④は、2年生までに習う文法項目を中心に問題が出題しましたが、得点率が低くなる問題がありました。

全体を通して、教科書の基本文やそれぞれの単元で学習した単語、文法項目から出題しました。間違えた問題がある人は、どの単元の内容かを確認し、教科書を中心に復習しておきましょう。